

重点化対象施策レビューについて

平成 2 8 年 3 月 2 3 日
エネルギー戦略協議会事務局

重点化対象施策レビューの概要

◆ ねらい

- － 平成 2 8 年度重点化対象施策の実行に向けた、内閣府による支援・後押し
のポイントの検討・共有化（府省連携の促進、専門家の知見の共有 等）
- － システムとして、社会実装までの効果的な連携について意見交換を行い、今後
の施策推進に係る留意点とりまとめ

◆ レビュー対象の選定

- － これまでにレビューしていないテーマ、または新規重点化対象施策を含むテーマ
の中から、構成員の意見を踏まえ選定
- － 2月16日（第12回）… エネルギーキャリア関連施策
- － **3月23日（第13回）… 太陽光発電関連施策**

◆ レビューのポイント

- － 平成 2 8 年度重点化対象施策レビューのポイント
 - ① 平成 2 7 年度の取組状況、政府予算案を踏まえた平成 2 8 年度の取組
計画
 - ② 平成 2 8 年度重点化対象施策決定時のヒアリングにおける有識者の指摘
事項に対する対応状況
 - ③ 国の戦略やロードマップに対する取組の位置づけ

太陽光発電関連施策レビューの進め方

◆ 該当施策

施策名	担当省庁	資料
革新的エネルギー研究開発拠点の形成	文部科学省	資料3-2 (5分)
太陽光発電技術研究開発	経済産業省	資料3-3 (5分)
福島再生可能エネルギー研究開発拠点機能強化事業	経済産業省	資料3-4 (5分)

◆ 平成28年度重点化対象施策決定時の「今後の課題」

- ー 太陽光発電システムの国際競争力の確保及び普及拡大のため、発電量予測技術、出力抑制技術等とも連携を推進

重点化対象施策一覧表（太陽光発電関連部分抜粋）

I. クリーンで経済的なエネルギーシステムの実現

i) エネルギーバリューチェーンの最適化

(2) クリーンなエネルギー供給の安定化と低コスト化

○太陽光発電

太陽光発電は、個人を含めた需要家に近接したところで中小規模の発電を行うことで、電力系統への負担も抑えられる上に、非常用電源としても利用可能なエネルギー源である。しかしながら、太陽光発電をはじめとする再生可能エネルギーは、普及に伴い固定価格買取制度の賦課金増加による国民負担の増大が見込まれており、この負担増大を抑制するために、高効率化・低コスト化が必須となっている。また、太陽光発電が安定的かつ経済的に自立したエネルギー供給源となるためには、発電時のコストを低減することに加えて、長寿命化や信頼性の向上が必要である。さらに、太陽光発電が大量導入された社会に向けて、太陽光発電のリサイクルに関する社会システムを構築するための技術開発や仕組みづくりが不可欠である。

エ・経07では、太陽電池の高効率化、製造コストの低減に関する技術開発を実施するとともに、システム全体での発電量の増加やBOSコストや維持管理コストを低減する技術の開発、並びに低コストリサイクルのための技術開発を行う。エ・文07では、産総研福島再生可能エネルギー研究所において、従来の太陽電池の効率を大幅に上回る超高効率の太陽電池の基礎研究を実施する。エ・経22では、太陽光、風力、地中熱等の再生可能エネルギーに関連した技術シーズに対する性能評価、品質評価を行うとともに、当該分野における地元の人材育成を通じて、被災地域における新たな産業創出への貢献を図る。

小分類	施策番号	施策名	再掲	リーダー府省	事業期間	H28年度予算 (概算:百万円)	予算 新規/継続	H27 AP	今後の課題
太陽光 発電	エ・経07	太陽光発電技術研究開発		経	H26～H31	6,000	継続	AP	・太陽光発電システムの国際競争力の確保及び普及拡大のため、発電量予測技術、出力抑制技術等とも連携を推進。
	エ・文07	革新的エネルギー研究開発拠点の形成			H24～H28	337	継続	AP	
	エ・経22	福島再生可能エネルギー研究開発拠点機能強化事業			H25～	1,080	継続	AP	